

# アグアスだより

2018年1月号

## 今年は戌年

新年あけましておめでとうございます。皆さまお元気で素晴らしい年を迎えられたことと思います。

私は、この正月三が日を初めてアメリカで過ごしました。私のハングルの先生をもらっていた韓国人の男性が、ご家族でダラスに移住されているので訪ねてみたのです。およそ10年ぶりの再会でした。

思えば、彼が日本に留学生として来ているときからの付き合いですから、初めて会ったのは20年も前になります。ソウルのご実家に行かせてもらったり、結婚式で身内だけの席に着かせてもらったりしたことが、ついこの間のような気がしました。奥様から伝統的な楽器の演奏を習ったり、韓国料理をごちそうになったりしたこともいい思い出の一つです。

ご夫婦とも、英語、日本語が堪能な上、私の片言のハングルも優しく受け入れてくれるので、会話が本当に弾み、時間が経つのも忘れるほどでした。

そんな中で、今年の干支について話す時間がありました。実は韓国にも干支はあります。日本と同じ（亥が豚年になることだけが違う）もので、今年韓国でも戌年なのです。そこで二人で、十二支の意味について調べてみることにしました。

もともとは、古代中国の暦がもとになっており、日本でもはるか弥生時代から使われていたそうです。そして十二支は、方角や時刻、日付を表すようになっていきます。人々の生活になくはならないとても大切なものになっていったそうです。

これを少しでもわかりやすくしようと、動物に当てはめて表現するようになったのは紀元前4～2世紀の中国でのこと。子はねずみ、丑は牛、そして戌には犬が当てられました。

この戌年、十二支の中では11番目にあたります。

もう少しで十二の暦がひとめぐりしようという頃なので、季節でいうと晩秋、これまで時間をかけて育ててきた作物を収穫する時期になります。仕事や勉強、家庭での取り組み、ほかの人のおつき合いなど、これまで続けてきた様々な取り組みに、きっとよい結果が表れる、努力が報われる年になるそうです。

この話をしながら、私は、韓国人の彼がこれまで続けてきた努力や苦勞を思い、彼と出会えたことを感謝しました。彼らは「日本を離れた後、一番会いたいと思っていた人に会うことができるととても嬉しい。今年はきっといい年になる。」とってくれました。私も同じことを感じていました。

幾つになっても、努力し自分を高めることができることを、彼らを通してまた感じることができました。

本校の子どもたちも新年を迎え、きっとご家族の皆様といろいろなことを感じたことだろうと思います。学校でも今年一年間を充実したものにできるよう、職員一丸となって頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(校長 藤本 貢)

## 校内研究の成果

今年度も昨年度に引き続き、研究テーマ【国際性豊かで、「自主性」、「発信する力」（表現力・活用力）をもった子どもの育成～現地素材を用いた授業モデル（アグアモデル）の開発を通して～】を掲げ、児童生徒の学ぶ意欲、「自主性」と「発信する力」を育むことを目標にし、**現地素材を用いた授業実践**を全教諭が行いました。その中の1つの授業について紹介します。

小3理科では、「植物は根・茎・葉からできていること」を、今年度学校菜園で伸び伸びと咲き誇っていたヒマワリの観察を通して学びました。これは教科書の内容通りです。次に子ども達に、現地素材「サボテン」を見せます。「あれ？サボテンには根・茎・葉はあるのかな？植物ならあるはずだけど…!？」「とげって根？葉？どんな役目があるの？」と、次々に湧き出る疑問や予想。児童の学ぶ意欲が高まり、授業は盛り上がります。その後、ひまわりの観察で得た知識と比べながら、「とげは葉が変形した形であること」「よく食べている部分は、茎であること」など、サボテンは従来のつくりを変形させ環境とかかわって生きていることを理解することができました。「ひまわりをもとに考えてみよう！」と自ら進んで（自主性）既習事項を活用しようする姿や「とげはきっと葉だよ。だってね…」と考えたことを友達や教師に伝えようとする姿（表現力）が具現化された授業でした。

また、12月に実施した国際理解アンケートの結果からは、研究の成果が数値として表れています。現地素材を用いた授業について「メキシコのことについて進んで考えたり、考えたことを友達に伝えたりすることができていますか。」の設問に対し、低学年 97%、高学年91%、中学部88%の児童生徒の肯定的な回答が増えています。また、「メキシコのことについて、新しい気付きをしたり、理解を深めたりすることができていますか。」の

設問に対し、低学年 92%、高学年 93%、中学部 96%と肯定的な回答が高いです。私たちも実践を通して、現地素材を用いた授業における児童生徒の学ぶ意欲の高まり、新たな気付きや思考の深まりなど、確かな手応えを感じています。

日本の教科書の学習と照らし合わせて、教諭が現地の「人・こと・もの」を教材化するのは難しさも伴います。しかし、現地素材を活かした学びを通して、異国の地への尊重の精神を高めたり、日本との比較を通して理解を深めたりすることは、メキシコで生活している強みでもあります。今後もそれを活かし、「ここでしかできない学び」を追求することで、国際性豊かな人材育成を目指していきたいと考えています。

(研究主任 小澤 邦夫)

## 1月行事予定

- 8日(月) 始業式、餅つき会(下校12:55)
- 9日(火) 書き初め会
- 10日(水) 委員会活動
- 12日(金) CRT学力検査①(小)  
実力テスト(中)
- 15日(月) カレーの日、CRT学力検査②(小)
- 17日(水) 避難訓練(地震)、クラブ活動
- 19日(金) ファイターズ
- 20日(土) 英検②1次
- 22日(月) パルケマラソン
- 23日(火) 読み聞かせ(小)
- 24日(水) 授業参観、クラブ活動、  
学習展示(～30日)
- 26日(金) ファイターズ
- 29日(月) パルケマラソン予備日
- 30日(火) 豚井の日、節分集会
- 31日(水) 委員会活動

**※パルケマラソン予備日を29日(月)にしたため、豚井の日を30日(火)に変更させていただきました。**